

インマヌエル中目黒キリスト教会

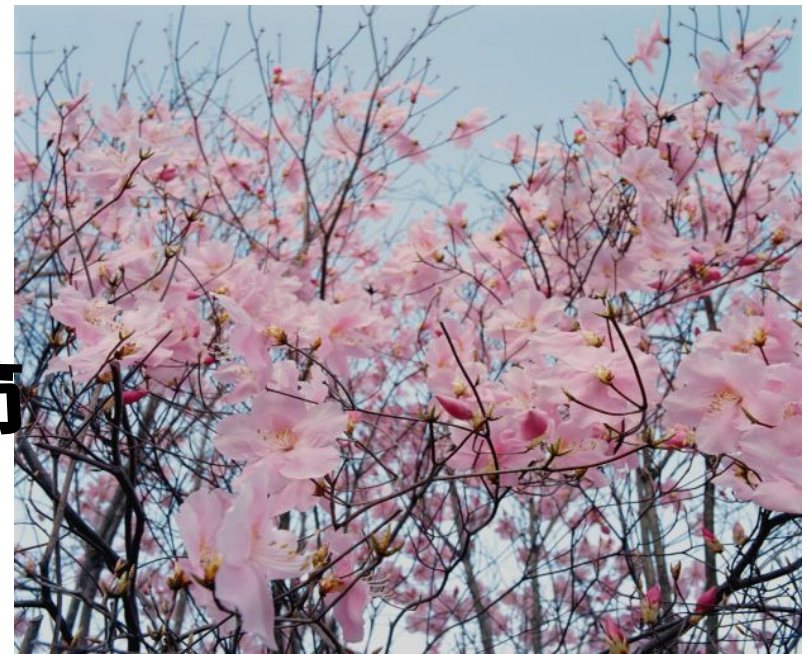
2009年3月29日

受難週に向かう

「仕えるために」

マルコの福音書10章35-45節

竿代 照夫 牧師



聖書朗読

新約聖書

マルコの福音書 10章 35節- 45節

35 さて、
ゼベダイのふたりの子、
ヤコブとヨハネが、
イエスのところに来て言った。
「先生。
私たちの頼み事を
かなえていただきたいと
思います。」

36 イエスは彼らに言われた。
「何をしてほしいのですか。」

37 彼らは言った。
「あなたの栄光の座で、
ひとりを先生の右に、
ひとりを左に
すわらせてください。」

38 しかし、

イエスは彼らに言われた。

「あなたがたは
自分が何を求めているのか、
わかっていないのです。
あなたがたは、
わたしの飲もうとする杯を飲み、
わたしの受けようとする
バプテスマを受けることが
できますか。」

39 彼らは「できます。」と言った。

イエスは言われた。

「なるほどあなたがたは、
わたしの飲む杯を飲み、
わたしの受けるべき
バプテスマを受けはします。」

40 しかし、

わたしの右と左にすわることは、
わたしが許すことでは
ありません。

それに備えられた人々が
あるのです。」

41 十人の者がこのことを聞くと、
ヤコブとヨハネのことで
腹を立てた。

42 そこで、

イエスは彼らを呼び寄せて、
言われた。

「あなたがたも知っている
とおり、
異邦人の支配者と認められた
者たちは彼らを支配し、
また、
偉い人たちは彼らの上に
権力をふるいます。

43 しかし、あなたがたの間では、
そうではありません。
あなたがたの間で
偉くなりたいたいと思う者は、
みなに仕える者になりなさい。

44 あなたがたの間で
人の先に立ちたいと思う者は、
みなのおしもべになりなさい。

45 人の子が来たのも、
仕えられるためではなく、
かえって仕えるためであり、
また、
多くの人のための、
贖いの代価として、
自分のいのちを与えるため
なのです。」

説教

受難週に向かう

「仕えるために」

マルコの福音書 **10章 35節— 45節**

竿代 照夫 牧師

主テキスト：

「人の子が来たのも、
仕えられるためではなく、
かえって仕えるためであり、
また、多くの人のための、
贖いの代価として、
自分のいのちを与える
ためなのです。」

(マルコ10:45)

1. 「十字架予言」

(10:45) の背景

- ヤコブとヨハネのリクエスト：
「栄光の座で、ひとりを右に、
ひとりを左に」
- イエスの応答：
「わたしの飲む（苦い）杯を
飲めますか」

- 十弟子の立腹：
自分達が出し抜かれた
悔しさゆえに
- 主イエスの悲しみ：
人間の、癒しがたい権力指向
のゆえに
- 主イエスの精神：
しもべとして仕える

2. この世に来られた主：
「人の子が来たのも、・・・」

- 人の子：普通の人間
（+メシア的存在）
- 来られた方：
他の世界からある目的を持って

3. 世に来られた目的：

「仕えられるためではなく、
かえって仕える」

- ・ 仕えられるためではない：
「仕えられる」立場の主が
それを放棄
- ・ 仕えるために：
自分を低いものとして
他に仕える

4. 最終の目的：

「贖いの代価として、
自分のいのちを与える」

- 贖いのため：

売られた所有物を買戻す

- ご自分の命を代価として：

十字架は完全な身代わりの代価

5. 私達への挑戦：

「みなに仕える者、
みなのもべになりなさい。」

(43, 44節)

- 世とは違う生き方を
- 仕える精神は謙り：
互いを自分よりもすぐれた者
と思う (ピリピ2：3)

終わりに

1. 主イエスの十字架を
見つめよう
2. 私達も、自分を十字架に